

会 議 録

1 会議名

令和7年度第1回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○自主的な審議（公開）

- ・ 自主的審議事項について

○報告事項（公開）

- ・ 令和7年度板倉区における主な事業について

○その他（公開）

- ・ 廃校施設の利活用に関するサウンディング型市場調査について

3 開催日時

令和7年4月22日（火）午後6時00分から午後7時00分まで

4 開催場所

板倉区総合事務所 201・202会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・ 委 員：小林会長、植木副会長、秋山委員、新井委員、小川委員、釜田委員、
小林委員、清水委員、庄山委員、中澤委員、深石委員、藤原委員、南
委員、山本委員
- ・ 事務局：板倉区総合事務所 宮下所長、小林次長、名倉次長、高橋建設グルー
プ長、佐藤産業グループ長、長谷川市民生活・福祉グループ長、丸山
教育・文化グループ長、千葉地域振興班長、宮澤主事

8 発言の内容（要旨）

【小林次長】

- ・ 会議の開会を宣言

【小林会長】

- ・ 挨拶

【小林会長】

- ・ 条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。

会議の成立を報告。

- ・ 会議録の確認を藤原委員に依頼。

【小林会長】

「3 自主的な審議 自主的審議事項」について、最初に部会の活動状況の報告をお願いしたい。

【清水委員（地域振興部会座長）】

前回報告した内容から進展はないが、先日話したリズムの関係は、中澤委員から関係者に当たってもらっている。

【釜田委員（健康福祉部会座長）】

アンケートの内容について検討しているところだが、案の案ができたのでさらに詰めていくところ。地域防災部会に私たちの案を検討いただき、本日、秋山委員から地域防災部会の案をいただいたので、それを含めて、また部会で少し煮詰めていきたい。

【秋山委員（地域防災部会座長）】

地域防災部会はだいぶ遅れており、ようやくアンケートのたたき台ができたところ。アンケートのたたき台を作るにあたって、「自分の命は自分で守る」、「みんなで決めてみんなで避難」、「備えあれば憂いなし」の3つのテーマを考えた。本来ならばアンケートというのは情報収集の方法だと思うが、啓発の一つの手段として作ってみた。健康福祉部会で作っていただいたアンケートが素晴らしいので、それはそれでもいいように思うし、今後、部会で検討して次回には結論を出したいと思う。

【小林会長】

スケジュールとしては、次回の会議には共有化を図るということでよいか。

【釜田委員】

なるべくそのような形でいきたい。

【小林会長】

各部会でそれぞれ進めていただきたい。それでは地域フォーラムについて、事務局から説明をお願いします。

【千葉地域振興班長】

・資料1について説明

地域フォーラムについてのアンケートの結果をそのまま記載したもの。この結果と、今まで部会の皆さんから出てきた意見をまとめると「地域コミュニティの維持」ということが板倉区の大きなテーマ、課題になると思う。そのためワークショップでも地域人口の安定化や定住というテーマを考えている

・『地区別まちづくり住民ワークショップ報告書』を説明

1ページに掲載されている創造行政研究所の藤山所長から、講演やワークショップの指導などをしていただく予定。3ページにスケジュールがあるが参考程度にご覧いただきたい。まずワークショップの前に職員の研修というものがあり、私たち職員が内容をしっかり理解してから、実際にフォーラムやワークショップを実施する流れになる。1回目に藤山所長の講演を予定している。地域協議会の皆さんからワークショップに参加いただきたいのと、様々な世代に参加してほしいので、委員からもお声掛けいただきたい。藤山所長が月に1回程度、来越するタイミングに合わせて、ワークショップを開催していきたい。

【小林次長】

お配りした報告書はイメージで、そのまま同じようにやっていただこうとは考えていない。主役はやはり皆様なので、これを上手に活用しながら皆様の話し合いに加えていただきたい。メンバーについても、若年層の方からも参加いただいて輪を広げたいという事務局の思いがある。これからそれを分かりやすく一つずつ進めていきたいと思っているのでご協力をお願いしたい。

【小林会長】

地域フォーラムの実施については、前回の会議で皆さんから了承いただき、実施

するとの方向である。内容についても「地域コミュニティの維持」を基本として、年代別に、板倉にとってのあるべき姿を話し合うことによって、問題意識を持っていただき、機運を高めていくような場にしたいと考えている。創造行政研究所や藤山所長と十分打合せをし、内表や日程、参加者について、コンクリートしていきたい。次回の会議の前に、3部会長会議で相談をさせていただく。

この件について質問、意見はあるか。

【庄山委員】

地域フォーラムについての課題というか問題意識なのだが、私としては、バックキャストिंगのこともあるが、地域コミュニティの維持をどのようにしていくのか、各出席者、各町内会長を含めて深く掘り下げていったほうがいいと思う。例えば山間地ではイノシシやクマが出て困るとか、あるいは農業の担い手がないとか、いろいろな問題が出てくるが、結局のところ地域コミュニティをどうやって維持していくのか議論しておかないと、人口は減っていくばかりなので、その辺を中心的にやってもらいたい。

【小林会長】

私も思いは庄山委員と同じ。単発的に終わるのではなく、事務局から提案があったように数回に分けて掘り下げながら検討していきたい。6地区連絡協議会会長や役員を含めた懇談会も進めながら、その中で板倉区としての方向性をどのように導いていくのか検討していきたい。行政と一緒に進めていきたいと思うので、またアドバイスをお願いしたい。

続いて、「4 報告事項 令和7年度板倉区における主な事業について」、事務局からご説明をお願いします。

【小林次長・名倉次長】

- ・資料2について説明

【小林会長】

質問、意見あるか。

【庄山委員】

8番のため池整備事業について。排水路が田井を通っているが、雨が降って溜ま

った水を流すと、堤防の相当上まで水が来て、堤防を保護しているコンクリートを剥がすほどだ。何回か土地改良区に頼んで直してもらったことがあるが、ため池の水をどうやって流しているのか。

また、21番の公民館管理運営費に関連して、農村環境改善センターの暖房設備が壊れていると思うが話を聞いているか。

【名倉次長】

ため池等整備事業について。大雨が降ると一気に排水路に水が集まってしまうので、下流の方で溢れるという状況も見受けられる。その対策として、調整池3か所を整備するもの。この3か所を整備することによって、直接排水路に流れるのを防ぎ、調整池に一時的に溜めることができるようになる。雨のピークが過ぎた後に徐々に流していくので、大雨の時には満杯になるが、それが3割軽減するというイメージ。非常に効果的な事業である。

【丸山教育・文化グループ長】

農村環境改善センターのエアコンの不調については引き継ぎを受けている。業者等含め、確認を取った上でしかるべき措置を取りたいと思う。

【庄山委員】

ため池を作ることはいいことだが、溜めた水を一気に出されると困るので、徐々に出してもらえば問題ない。

【名倉次長】

出口は絞ってあるので、一気に出ることはない。

【庄山委員】

承知した。

【小林会長】

農村環境改善センターについては、前向きに対処するという事なので、また報告を求めたいと思う。

【新井委員】

市とは関係はないが、関田地内の県道が今年は大雪で非常に傷んでいる。今日、筒方地区連絡協議会の会長たちが、県地域振興局へ直談判に行っている。秋に自転

車まつりが開催されると聞き、細い自転車のタイヤが溝に入ると、転倒の恐れがある所が何か所もある。

また、市道、県道脇の草と雑木が夏になると道路にはみ出してくるので、私たち住民も気が付いた時に伐採しているが間に合わない。春のうちに、はみ出そうな雑木を切ってもらえるとありがたい。

【高橋建設グループ長】

市道の修繕については、職員や2名の道路管理員でパトロールし、大きな穴等の緊急の場合はレミファルト等で補修している。草刈り及び雑木については、草刈り費用が年2回と決められている中で、交通に支障があるところ等については、道路管理員が対応させていただいているが、2名で板倉、牧、清里、中郷の4区を担当しているため、行き届かないところもあるかもしれない。そういった場合、町内会長などを通じて総合事務所に連絡いただければ、職員もいるので対応させていただきたい。

自転車まつりに関連して、私自身、昨年まつりに参加し自転車で走行しており、危険な箇所は順次補修しているが、県にも引き続き対応を依頼したいと思っている。

【釜田委員】

19番スクールバス等運行事業に関連して、この4月から新しい方式で運行されているところだが、中郷区でも同じような形で運行をしていたがうまくいかず、今年度から10人乗りのタクシーのような形で運行されていると報道で見た。板倉区については、今後も含めてどんな形でやっていかれるのか。また中郷区と情報交換もしているのかお聞きしたい。

【小林次長】

コミュニティバスの運行は今年度から実施し、これから様々な問題も見えてくると思う。その比較対象として中郷区の状況も見据えながら、今後、皆様の足となるような運行ができればと考えているので、もうしばらくお待ちいただきたい。

【釜田委員】

停留所が増えて利用しやすくなったが、宮島は町内からだいぶ離れた旧宮嶋小学校に停留所がある。町内会で話し合い、雨がしのげるという理由でその場所にした

そうだが、普段バスを利用しない人が決めたことで、実際、利用される高齢者にとっては、より近い場所に停留所がある方が便利だと思う。交差点の近くでは停留所を作れないという条件もあるが、法律の範囲内でなるべく利用者が乗車しやすい場所に作ってほしい。

【小林次長】

釜田委員の意見も参考にさせていただきながら、今後、皆様が利用しやすいように最大公約数を求めていくべきだと考えているので、ご理解とご協力をお願いしたい。

【清水委員】

上越自転車まつりでは、多くの反省点が出たと思う。今年はそれを活かして実施すると思うが、ボランティアで参加したい人もいると思うので、早めの情報開示をお願いしたい。

次に、光ヶ原キャンプ場ですが、最近のキャンプブームで、有名なところは人が来過ぎて大変だと聞いたので、穴場的な狙い目になるのではと予想している。宣伝はどのようにされているのか、分かる範囲で教えていただきたい。

【宮下所長】

昨年、第1回上越自転車まつりが開催され、光ヶ原高原に登るヒルクライムと、4区を回る里山ライドの2コースがあった。それは今年も変わらないと聞いている。昨年はヒルクライムと里山ライドを併せて地域独自予算事業で実施したが、今年は、ヒルクライムは昨年同様地域独自の予算事業を使うが、里山ライドは別の財源を使って開催するという整理になっている。実行委員会のホームページに出ている情報だと、9月27日土曜日に光ヶ原ヒルクライム、翌28日日曜日に里山ライドを実施するとのこと。ヒルクライムは、昨年よりも定員を増やす予定で、5月明けくらいから参加者の募集をするようだ。里山ライドは、今年は高田城址公園をスタートし、板倉、清里、牧のほか、妙高市や吉川、頸城の方まで回るかなりロングコースを予定されている。母体は昨年の実行委員会と同じだが、組織はヒルクライム、里山ライド、2つに分けて実施すると聞いている。

【佐藤産業グループ長】

光ヶ原高原キャンプ場については、光ヶ原高原ファンクラブの皆さんが地域独自の予算事業で活動されている。市では宣伝はしていないが、清水委員の意見も参考に今後検討していきたい。

【新井委員】

ファン倶楽部会長から聞いた話だが、昨年かその前の年から、キャンプ場に電気が来なくなり、週末だけ発電機を利用してトイレの浄化槽のぼっ気を回していると聞いた。総合事務所にも情報が入っていると思うが、PRしても真っ暗でトイレも使えないキャンプ場に誰も来ないと思う。調査して対応をお願いしたい。

【佐藤産業グループ長】

確認させていただく。

【植木副会長】

スクールバスは吉増や小石原まで行っているのか。吉増には子どもがたくさんいて、スクールバスが来るとありがたいという話を2年前に聞いたので、現状はどうなっているのか知りたい。

また、板倉中学校吹奏楽部が、地域協議会で、100万円位ないと楽器が買えないという話をしていて、それから2年位経っているのでどうなったか。楽器のないと吹奏学部の子たちがかわいそうだと思う。

【丸山教育・文化グループ長】

スクールバスの件だが、小石原についてはスクールバスが行っている。ただ、南中島や吉増は、現在は運行していない。

委員がおっしゃる通り、要望も聞いているので、何らかの対処をするような形で検討をしていきたい。

吹奏楽の関係についてはここでお答えできないので、持ち帰りとしてさせていただきたい。

【小林会長】

板倉小学校設置の時に、スクールバスの運行について私がその時の責任者だったので若干触れるが、吉増のPTAの皆さんから集まっていただいて協議した結

果、吉増の子どもたちはスクールバスを利用しないことになった。今後については、地域の意向を十分踏まえて検討していただきたい。

では次に、廃校施設の利活用に関するサウンディング型市場調査について、事務局から説明をお願いします。

【小林次長】

・資料「廃校施設の利活用に関するサウンディング（民間対話）型市場調査実施要領」について説明

【小林会長】

質問はあるか。

(なし)

皆さんに配られた芝桜まつりのチラシについて、事務局から補足説明はあるか。

【佐藤産業グループ長】

このイベントは昨年同様、地域独自の予算事業を活用して、地元の寺野地区連絡協議会、みどりやすらぎグループ、ふしんの里やすらぎ荘、そして上越市も共催して開催している。やすらぎ荘1,800㎡の敷地内に、芝桜約12,000株が咲き、150匹の鯉のぼりが大空を泳ぐ姿は壮観ということで、皆さんから大変好評をいただいている。昨年は、期間中に延べ12,000人の方から来ていただいた。なお、高校生以上の大人は、300円の協力金をお願いしたいとご案内している。ご家族、ご近所のお誘いの上で、ぜひお越しいただければと思う。

【小林次長】

市では地域自治推進プロジェクトについて検討を進めている。3月27日に会長会議で案を示したが、今度は委員を交えて説明会を開催したいと考えている。時期などは未定だが、6月頃に板倉区、中郷区、清里区、牧区を一堂に会して開催を検討しているので、ご承知おき願いたい。

【宮下所長】

このプロジェクトを所管している地域政策課の方で、市内全28地域協議会、個別に説明と意見交換をしたいという前提の中、例年実施している4区地域協議会の合同研修会で、4区が一堂に会して説明を聞いて意見交換をし、合同研修会を兼ね

て実施したらどうかという提案が中郷区からあった。その方向性で日程等も含めて進めさせていただきたい。

【小林会長】

質問、意見はあるか。

(なし)

【植木副会長】

- ・ 閉会の挨拶

【小林次長】

これで、第1回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0 2 5 5 - 7 8 - 2 1 4 1 (内線 1 2 3)

MAIL : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。